

看護誓いの儀

当院が実習病院である看護学校で「看護誓いの儀」が開催され、出席してきました。今はナースキャップの廃止に伴って「載帽式」がなくなり、ナイチンゲール像が持つ灯火を一人ずつ学生が継承し、臨床実習に向かう節目として多くの学校や大学で行われているセレモニーです。

出席した学校では、毎年学生達が考えた誓いの言葉を宣言します。今回は、多くの人との出逢いの“輪”を大切に、感性を磨き、支え合い、生涯努力していくという誓いの言葉でした。

入学して8ヶ月、看護の道は始まったばかりですが、しっかり学んでたくさんの経験を重ね、めざす看護師への成長を願っています。

折しも、前日の私は看護学校の同窓会で、約40年前に出会った仲間やお世話になった先生と5年ぶりに楽しい時間を過ごしてきたところでした。久しぶりに出会っても直ぐに学生の頃に戻ってしまうのが不思議です。皆、看護の免許を活かして仕事をしていました。今日のセレモニーに参加し、大昔の載帽式を思い出しながら、学生さん達にも共に学んだ一生の仲間として、看護師として歩み続けてもらいたいと思いました。



副院長兼看護部長 西岡三津代